

2011年6月号
No.463

発行 栃木県労働者福祉協議会
編集 共同編集委員会

栃木県労働者福祉協議会

第五二回定期総会

五月二十七日栃木県労働者福祉協議会第五二回定期総会が栃木県労働者福祉センター七階会議室において代議員六九名参加のもと開催された。

開会冒頭、伍井会長から三月一日に発生した東北大地震で栃木県も多くの被害を被った。その中において全労済の災害に対する対応の早さに加盟して良かったなどという声を多数聞いた。一般損保に加入して

いる人は対象とならない。

また、中国浙江省总工会から義援金として四二七〇〇〇円が足利銀行に振り込まれてきました。被害に遭われた人たちのために有効活用をさせていただきたい。

現在、労福協は任意団体

であり、今回の公益法人の見直しに向けて法人格取得に向け取り組みを検討していくこととなります。そして、新たな任務を得ることにより、地域住民のための組織を作り上げていくこととなります。併せて、働く人の生活相談センターとちぎを労福協の中に組織統合し新に活動をすすめることとなります。私たちの責務を持つて対応していきたいとのあいさつがあった。その後、ご来賓の栃木県産業労働観光部労働政策課、益子課長補佐から栃木県知事の祝辞をいただいた。

引き続き、報告事項、議案審議が行われ、原案通り

栃木県労働者福祉協議会
2011年～2012年役員名簿

役職名	氏名	再・新	選出団体
会長	伍井 邦夫	再	中央労働金庫
副会長	板橋 賢二	再	全労済 栃木
〃	加藤 剛	再	連合 栃木
事務局長	小松 清	再	〃
幹事	小吉 成	再	〃
〃	小峰 良一	再	〃
〃	鈴木 正	新	〃
〃	小林 秀樹	再	〃
〃	小麦 常治	新	栃木県高教組
〃	立川 一男	新	吉澤石灰労組
〃	小古 山稔	再	中央労金
〃	小島 茂	再	全労済 栃木
〃	阿部 晃	再	福祉センター
〃	鎌柄 克美	再	県生協 連協
〃	刀川 京子	再	栃木労生協
〃	金子 安男	再	栃木ファミリー
〃	塚原 政雄	新	とちぎコープ
監事	加部 和夫	再	連合 栃木
〃	大類 康男	再	中央 労金

承認された。
今定期総会で確認・承認された議案は次の通りです。

第一号議案
二〇一〇年度
一般経過報告
会計報告
会計監査報告

第二号議案
二〇一一年度
活動方針(案)
予算(案)
定期総会スローガン
第三号議案
二〇一一年度
役員選出

について満場一致承認されました。

東日本大震災により被災された皆さまへの 緊急特別融資制度について

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆さまに衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。中央ろうきんでは、東日本大震災によって被災（罹災）されたお客様の災害復旧等にかかる資金需要にお応えすべく、緊急特別融資制度を制定し、全営業店舗でお取扱いしておりますので、お知らせいたします。

緊急特別融資制度【無担保】			
貸出対象者	東日本大震災により被災した方のうち、当金庫の取引資格を満たす方		
ご利用限度額	500万円以内	期間	最長10年
資金用途	本人または三親等以内の親族の今回の震災にかかる復旧等に要する生活資金全般		
利率	年0.8%（固定金利型）	担保	不要
保証料 (上記利率に上乘せ)	① 団体会員の間接構成員の方：年0.4% ② ①以外の方：年0.8%		
必要書類	金庫所定書式により利用申告書のご提出を頂きます（「罹災証明」のご提出は不要）。借入申込書・ご本人確認書類等のご提出が必要となります。		
お取り扱い期間	2011年3月18日～2012年3月31日（申込受付分）		

- * 団体会員とは、中央労働金庫に出資いただいている労働組合などの団体をいいます。
- * 店頭やホームページでご返済額の試算ができます。
- * 審査の結果、ローン利用のご希望にそえない場合があります。
- * 店頭で説明書をご用意しています。

※緊急特別融資制度は有担保融資についても、お取扱いしております。詳しくは〈中央ろうきん〉営業店までお問合せください。



最寄の営業店およびローンセンターへお気軽に



引き続き災害支援、復興支援の活動に努めます
とちぎコープ

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。この間とちぎコープで行ってきた災害支援と今後の活動についてご報告いたします。

【義援募金】
震災直後の3月14日(月)から宅配・店舗にて義援募金を呼びかけ、2万人を超える組合員から約3,200万円の募金が集まりました(4月24日時点)。義援募金としては6月まで継続し、その後は長期的な支援ができるよう枠組みを広げた復興支援募金に変更する予定です。

【人的支援】
被災地である、みやぎ生協の店舗・セットセンターの復旧支援に第2陣まで派遣しました。第1陣に参加した職員の感想です。

「被災地はすさまじい状況で現地に入っただけで涙ができました。困難もありましたが、微力ながらお

役に立て良かったです。」
今後は「とちぎボランティアネットワーク」などの県内NPOとも連携し、引き続き被災地支援を継続して行きます。

【物的支援】
とちぎコープは県内14市町と締結した「災害時支援協定」に基づいた食料・水・生活雑貨などの提供、各避難所へお茶菓子の差し入れ、宇都宮市の要請を受け、避難所で自炊をされている方々への食材の注文・調達・お届けに励みました。

【県内農業者支援など】
県産農産物の安全性をPRする「がんばろう！とちぎの農産物フェア」(栃木県・JAグループ主催)に呼応し、コープ鶴田店では農業者支援の「寄せ書き」を行いました。タタミ2畳ほどの「寄せ書き」は来店された多くの組合員からのメッセージでいっぱいになりました。引き続き「産地応援フェア」などを行い風評被害に苦しむ産地、生産者を応援して行きます。

〈中央ろうきん〉10周年
“暮らしをサポート”
キャンペーン

東日本大震災で被災された皆様へ
このたびの震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。中央ろうきんでは、皆様の暮らしをサポートを最優先に取り組みまいります。

対象取引をご契約いただいた方の中から抽選で **素敵な商品をプレゼント!!**

特典1
ありがとう感謝を支えに暮らしをサポート

JTB旅行券80,000円分
全国のJTBグループ店舗で、旅行に関する様々な用途にご利用いただけます。

UCギフトカード10,000円分
全国でご利用いただける共通商品券です。

ジェフグルメカード3,000円分
全国35,000店舗でご利用いただけるお食事券です(2011年4月現在)。

合計 **2,000** 名様

期間
2011年4月1日(金)～9月30日(金)

お一人様最大10口まで抽選にエントリーできます。
対象取引・条件例 ● 定期預金の合計残高が10万円以上増加(最大10口) ※ 合計残高増加額10万円以上が対象となります。(2011年3月末日と9月末日の差額にて判定します。期間中の新規契約は、2011年9月末日の残高で判定します。) ※ 合計残高増加額の算出は、スーパー定期、スーパー定期300、大口定期預金、ありがとう定期預金、退職金定期預金等、定期預金の残高増加額の合計となります。 ※ その他、財形貯蓄、エース預金、給与振込、各種ローンなどの取引で、お一人様最大10口まで抽選にエントリーできます。詳しくは、〈中央ろうきん〉営業店または〈中央ろうきん〉ホームページでご確認ください。
*本キャンペーンは個人のお客様のみを対象とさせていただきます。*2011年9月末日時点において、対象条件を満たさなくなった場合、抽選権利が消滅します。*プレゼント抽選対象の登録は、自動エントリーとなります。抽選は、2011年10月中旬に行います。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。賞品は、2011年10月下旬に当金庫登録の住所に発送予定です。*賞品は抽選権利数にかかわらずお一人様1本となります。*詳しくは、〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください。

10周年記念 **ありがとう定期預金発売!**

特典2
対象預金の店頭表示金利 **十年0.1%金利上乘せ**

お取り扱い期間
2011年4月1日(金)～9月30日(金)

対象条件※	他金融機関からのお預け替え等、新たな資金でのお預け入れ。現金または振込等により流動性預金(普通預金・貯蓄預金)に入金された資金からのお預け入れ		
最低預入金額	10万円以上	対象預金	スーパー定期・スーパー定期300・大口定期預金
預入期間	1年	自動継続の取扱い	元利継続・元金継続
自動継続後の適用金利	通常金利で自動継続(自動継続後の金利は自動継続した日における店頭表示金利となります。金利上乘せは適用されません。)		

※個人のお客様のみを対象とさせていただきます。※他の金利上乘せ定期預金および定期性預金(財形・エース預金を含む)からのお預け替えは対象となりません。*ATMや「インターネット/モバイルバンキング」にて作成いただいた定期預金は対象となりません。*中途解約された場合、当金庫所定の中途解約金利が適用となります。*金利情勢により、商品内容等が変更となる場合があります。*他の金利上乘せ定期預金との重複適用はできません。*店頭で説明書をご用意しています。*最新の店頭表示金利は、店頭または〈中央ろうきん〉ホームページでご確認ください。

※上記の各預金は、預金保険制度の対象商品です。

お問い合わせ・ご相談は **最寄の営業店へお気軽に**

もっとサポート
ずっとサポート
中央ろうきん

全労済

東日本大震災に対する対応について

このたびの震災により被災されたすべての皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。皆さまの一日も早い再建を心よりお祈り申し上げます。

甚大な被害を受けた6県へ 全国の役職員を派遣

全労済では、地震発生直後に災害対策本部（本部防災委員会）を立ち上げ、当災害を全労済の災害区分における1号災害（全国域の災害要員派遣等を実施）と認定し、情報収集ならびに今後の対応策を検討してきました。

その中で、全労済役職員の総力をあげて被災者対応を行うことを最優先課題とし、3月23日（水）から栃木県本部・千葉県本部への第1次全国支援を皮切りに、茨城県本部、岩手県本部、宮城県本部、福島県本部を含む6県本部へ全国支

援助員を行っています。

迅速な共済金の お支払いに努めております

全労済は、今こそ生活協同組合としての助け合いの精神を最大限発揮し、迅速に共済金の支払いを行うことにより、被災された組合員の皆さまの生活再建を支援していきたいと考えております。そこで、ご請求手続きでは、必要書類の一部を省略させていただき、簡易な手続きにより迅速なお支払いに努めています。



全国支援要員の職員
被災地の契約者の方にも早く共済金をお支払いするため

に、航空写真・衛星写真を用いて被災地区を確定し、被害状況の確認をしています。

東日本大震災被災対応状況

2011年5月24日現在

受付件数	現場調査完了件数	共済金額
83,336件	59,839件	303.8億円

全労済の被災対応状況について

全労済では5月24日（火）現在で、83,336件、336件の組合員の皆さまの被災のご報告を受け付けています。被害のご報告が、最も多いのは茨城県の22,730件、次いで宮城県の2,014件と受付件数の約半数が2県に占められており、被害が広範囲に及んでいることを物語っています。被害状況確認のために組合員の皆さまのご自宅へお伺いした件数は、59,839件で、7割以上の訪問を行いました。共済金のお支払い額は、

約303.8億円となっております。

栃木県本部の被災対応状況について

全労済栃木県本部は、震災の翌日3月12日（土）に被災受電チームを立ち上げ、被災受付を開始しました。3月15日（火）には2人1組で現場調査班を編成して、被害状況確認活動を開始し、GW期間中も活動を続けました。

5月24日（火）現在、栃木県の被災受付は、7,342件で、被害状況確認活動は、6,428件です。全国支援を受け入れた県の中では、比較的早く活動を進めることができています。今後は被災されたすべての組合員の皆さまのご自



栃木県に義援金を寄贈
左より石川理事長（全労済本部）
板橋本部長（全労済栃木県本部）
福田県知事

宅へ何うとともに、他県への支援も行っていきます。また、5月9日（月）に、栃木県が、県内の被災者の支援のために設置した「とちまる募金」へ1,000万円の義援金を寄贈しました。

共済金のお支払いについて

今回の震災における全労済の共済金のお支払いについては、削減規定を適用しないでお支払いしております。具体的に対象となる共済金は①火災共済のお見舞金②自然災害共済の共済金③生命系共済の災害死亡共済金④慶弔共済のお見舞い金。上記4分野になります。まだ被災のご報告をいただいていない組合員の方がいらっしゃいましたら、お手数ですが全労済へご連絡をお願いいたします。

東日本大震災によって被災された組合員の皆さまの一日も早い再建に向け全労済は引き続き活動してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

今後の予定

- 六月
 - 九日～一〇日 全国交流集会
 - 二三日 労福協幹事会
 - 二四日 栃木県生協連通常総会
 - 三〇日 連合栃木・事業団体福祉推進会議
- 七月
 - 二日～三日 第五期東部ブロック福祉リーダー塾
 - 七日～八日 第四回地方労福協会議
 - 一二日 平成二三年度栃木県人権教育・啓発推進県民会議
 - 二二日～二三日 二〇一一年度代表者会議第一八三回東部ブロック幹事会合同会議
 - 二五日 栃木労生協理事会

労福協便り

五月二七日に第五二回栃木県労働者福祉協議会定期総会が開催されました。定期総会に多くの仲間の皆様からメッセージが届けられましたので改めてご紹介するとともに感謝を申し上げます。

「メッセージ」

- ①連合栃木 青木 義明 会長
- ②労働者福祉中央協議会 笹森 清 会長
- ③労働者福祉東部ブロック 遠藤 幸男 会長
- ④静岡県労働者福祉協議会 平野 哲司 会長
- ⑤新潟県労働者福祉協議会 江花 和郎 会長
- ⑥茨城県労働者福祉協議会 児島 強 会長
- ⑦神奈川県労働者福祉協議会 小西 正典 会長
- ⑧山梨県労働者福祉協議会 田中甲子男 会長

（敬称略）

保障の考え方、見直しのポイントを紹介しします

全労済では「生活保障設計運動」を展開しています。生活保障設計運動は、組合員の皆さまが自らの保障を見直し、自分にあったライフプラン（保障設計や資金計画などの生活設計）を計画・実行することによって、一人ひとりが保障の充実と家計支出の軽減をはかることにより「豊かで安心できる暮らしづくり」を目的としています。

今回から、保障設計の考え方や見直す際のポイントなどを分野・シーン別で紹介していきます。

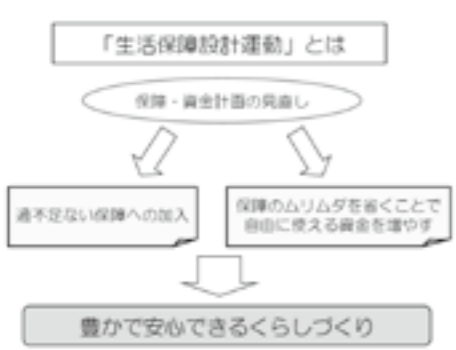
リスク（不安）は一人ひとり違います

リスクは人それぞれです。多くの方はその備えとして共済や保険などに加入されていますが、その保障内容や保障額は何を基準にすれば良いでしょうか。必要以上の保障を備えて、掛金や保険料が家計を圧迫し

ていることはありませんか。保障を必要に応じてとらえ、今の自分に適切な保障を考えることが「保障設計」になります。

生活スタイルが一人ひとり違い、変化していくように、必要な保障も生活の変化にあわせて変わっていきます。例えば、死亡保障では、保険金は残された家族が現在と同一水準の生活ができるかという点を基準に入ります。

定期的に保障を見直すことで、必要なときに必要な保障へ備えられている状態を保つことができます。



連合栃木那須地域協議会 地協設立と活動報告

このたびの東日本大震災にて被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。さて、現在の那須地協は、

談会も現在、那須塩原市1名、大田原市2名、矢板市1名、那須烏山市1名の5名で勤労者の代表として議会で質問・要望等を取り上げてもらうなどの対応をお願いしています。

2011年度4役員紹介

議長代行

清水 和彦

電力総連(東電労組栃木北支部)

副議長

中里 稔

U-センター(日本フェルト労組栃木支部)

副議長

阿相 賢治

JAM(全矢崎労組栃木支部)

副議長

後藤 雅之

自治労(栃木県職協合支部)

副議長

井上 利明

電機連合(シャープ労組栃木支部)

副議長

鈴木 貴也

J.P.労組(J.P.労組栃木北部支部)

事務局長

中塚 英治

JAM(東京計器労組矢板)

事務局次長(専従)

森谷 謙二

以上

ボランティア活動

福祉施設へタオル寄贈

那須地協では、毎年栃木県メーデー那須地区大会において「タオルキャンペーン」を行いメーデー参加者に、1人1本の未使用タオルを持参していただき、集まったタオルを那須地協管内(4市2町)の社会福祉協議会に寄贈しています。昨年は1,064本でした。

アジア・アフリカ支援米の取り組み

連合栃木「食とみどり、水を守る運動推進委員会」主催の「アジア・アフリカ支援米」を支援し、元大田原市議の大宮司肇さん所有の水田にて、5月に田植え、10月に稲刈りを行いました。各構成組織の組合員やその家族、大宮司さんの地元地区の皆さんのご協力を頂き多くの支援米が収穫できました。昨年は約490キロの支援米が収穫でき、推進委員会より発送していただきました。

第五回定期総会

働く人の生活相談センターとちぎ

働く人の生活相談センターとちぎ第五回定期総会が五月一二日栃木県労働者福祉センター七階会議室において代議員二〇名参加のもと開催された。

開会にあたり、森田理事長から、今回の定期総会は記念すべき総会である。中央の四者合意「地域に顔の見える運動の展開」をもとに、全国に先駆けて積極的に取り組んでまいりました。特に県内に支部を作り相談員を配置しながら相談業務を展開してまいりましたが、今回の総会を持って「すべての事業」を労協に統合し更なる発展を期すこととしましたとのあいさつの後、ご来賓として、栃木県労働協働部会長から、三月十一日の東北大地震で栃木県も大きな被害を受けました。また、労働者の一時帰休や雇い止めなど問題が発生している。本来は福祉問題や労働問題に

福祉センター

第四十六回 通常総会開催

去る、五月二十七日(午後二時三十分より)福祉センターに於いて第四十六回通常総会が開催されました。黒崎副理事長が司会となり開会を宣言。

資格審査、議長選出、書記任命、議事録署名人指名と進み理事長が次のような挨拶をしました。

「一九七二年の開業以来、関係団体に支えていただき四十周年をむかえることができました。



山田理事長あいさつ

を考えてまいります。

また、新公益法人移行に基づく新組織への移行認可につきましまして、①法人格の形態、②定款の制定、③公益目的支出計画の策定、認可条件の確立に向けて準備を進めてまいりました。形態は一般社団とし、新定款の制定は昨年の総会で承認を得てまいりました。

公益目的支出計画の策定は、引き続き労働者福祉にかかわる非営利団体として将来的にも労働者福祉団体として活動できる内容で策定し、認可申請にそなえてまいります。当初は、カルチャースクールの継続事業震災に対する特定寄付などを申請内容とし、将来的には、労協の公益活動に参入することも含めながら新たな公益事業を創出することを考えてまいります。

節目の年にあたり、将来

の展望を考え、しっかりとした組織基盤の確立に取り組んでまいります。」

新役員名

理事長 山田 博由(再)
副理事長 黒崎 健憲(再)
理事 加藤 剛(再)

田村 至男(新)
相田美由紀(再)
岩本 治美(新)
小古山 稔(再)
川崎宇喜夫(再)
鎌柄 克美(再)
小松 清(再)
金子 安男(再)
阿部 晃(再)
加部 和夫(再)
刀川 京子(再)
大類 康男(再)

カルチャースクール

二〇一一年度前期開講
二〇一一年度前期、カルチャースクールが六月より開講いたしました。受講者数は、次の通りです。
○英会話(夜)四十一名
○英会話(昼)二十八名
○手話十六名
○書道二十八名
○絵手紙十三名
○水彩画十四名
○ヨガ二十七名

がん保障の備えは万全ですか？

【主契約】
がんの保障



ご希望にあわせて必要な特約をお選びください

手術・放射線治療特約

抗がん剤治療特約

長期支援特約

所得サポート特約

特約 コサージュ

生きるための
がん保険 Days

特約

※詳しくはパンフレット(契約概要)をご覧ください。

「生きる」を創る。

Aflac

(引受保険会社)

〒320-0964 宇都宮市駅前通り1-3-1 ファミックス STMビル
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
宇都宮支社 TEL028-623-0192

(お問い合わせ先・募集代理店)

〒320-0052 宇都宮市中戸祭町821 県労協センター6F
栃木ファミリー(栃木労生協 保険部)
フリーダイヤル 0120-839-816

栃木県労働者消費生活協同組合

第四六回通常総代会

五月二十七日(金)宇都宮 市戸祭・福祉センターに於いて、栃木労生協第四六回通常総代会が開催されました。鎌柄(県生協連)理事の司会により、開会の挨拶、資格審査、議長選出を、総代数一四〇名、出席二八名、委任七四名と過半数に達しているのを、総代会が成立したことを報告、議長に、麦倉実(自治労県本部)総代を指名、これを諮ったところ異議なく承認されました。議長はただちに登壇、挨拶後、書記、議事録署名人を任命、議事に入りました。はじめに、伊藤理事長より、本日は、お忙しい中、栃木労生協通常総代会にご出席いただきありがとうございます。東日本大震災で、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。二〇一〇年度の日本経済は働く者の実質賃金の低下、雇用不安などにより消費マインドは高まらず、デフレ状態

を脱却できず悪循環に陥っています。栃木労生協も一般商品の供給高不振により手数料が減少、ガソリンの供給量の減少による手数料の伸び悩みなど、大変厳しい一年でございました。この間、ご協力いただきました皆様、心より役員一同御礼申し上げます。引き続き刀川事務局長より、第一号議案・二〇一〇年度事業報告、決算報告、損失金処理案を報告、提案、鈴木(全林野労組)監事より、会計監査報告の後、質疑応答、満場一致で承認されました。第二号議案・二〇一一年度事業計画について提案、満場一致で承認されました。議長、書記を解任後、議事進行に協力をいただいたことに感謝する旨の挨拶後、降壇する、鎌柄理事の閉会のあいさつで無事総代会が終了いたしました。

実績 二七九〇〇五千円
二〇一一年度目標 二九三〇〇〇千円
(物資二三〇〇〇千円、石油製品二七〇〇〇千円)
長引く不況の中、一段と低価格競争に拍車がかかり、コストを押さえる為に賃金カット、給料カットなど、依然として不況の中に下ります。経費削減などいたしました。ガソリン手数料の減収は予想以上に大きく、極端な消費停滞による供給高の伸び悩みもありました。しかし、ここで挫ける訳には参りません。何とか、一般商品の供給をアップ、ガソリンカード利用率、家族カードの発行を増やす、などに取り組んでまいります。二〇一一年度目標達成の為に役員一同一丸となつて努力してまいります。組合員の皆様、関係団体の皆様のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お知らせいたします。
今年も「住まい作り応援キャンペーン」を七月から九月まで、行います。どうぞこの機にリホーム・建替えなど考えておいでの方は、一度展示場にお越になりませんか。また「宇都宮東武グランデ」と提携をいたしました。会議、宿泊、結婚式各種割引、特典があります。ぜひご利用ください。
「栃木労生協組合員」の一言をお忘れなく!

特集 道の駅

道の駅は、国土交通省に登録された道路利用者のための休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設ですが、特集として掲載する施設は、国土交通省に登録されている県内の施設を基本に編集員独自の選定により紹介してまいります。

第三弾(佐野市)

どまんなかたぬま

「どまんなかたぬま」の名前の由来は、日本列島の東西南北の各基準点を結び交わった中心点が佐野市の田沼地区にあることから名づけられました。
園内には、中華レストランをはじめ、ふれあい交流館、地元で採れた新鮮野菜などの農産物直売所、佐野市の特産物、どまんなかたぬまのオリジナル商品が購入できる「物産特産品コーナー」、濃厚で味わい深い手作りジェラート等、見ているだけでも飽きないほどの商品も取り揃えてあります。また、季節により、お化け屋敷や冬のイルミネーションなどの催しものもあります。是非ご家族の皆さんで楽しい一日を過ごしてみてください。
また、施設近隣には、唐沢山神社、蓬萊山ビレッジ(田舎そば)が美味しい、万葉自然公園かたくりの里、ハーブガーデン六月の森、田中正造旧宅、出流原弁天池、梨・桃・イチゴ等の直売所など見所がたくさんあります。
住所 佐野市吉水町三六六一二
電話 〇二八三(六一)〇〇七七